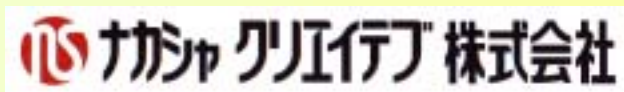


# 大型絵図資料の高精細デジタル化のための 撮影について

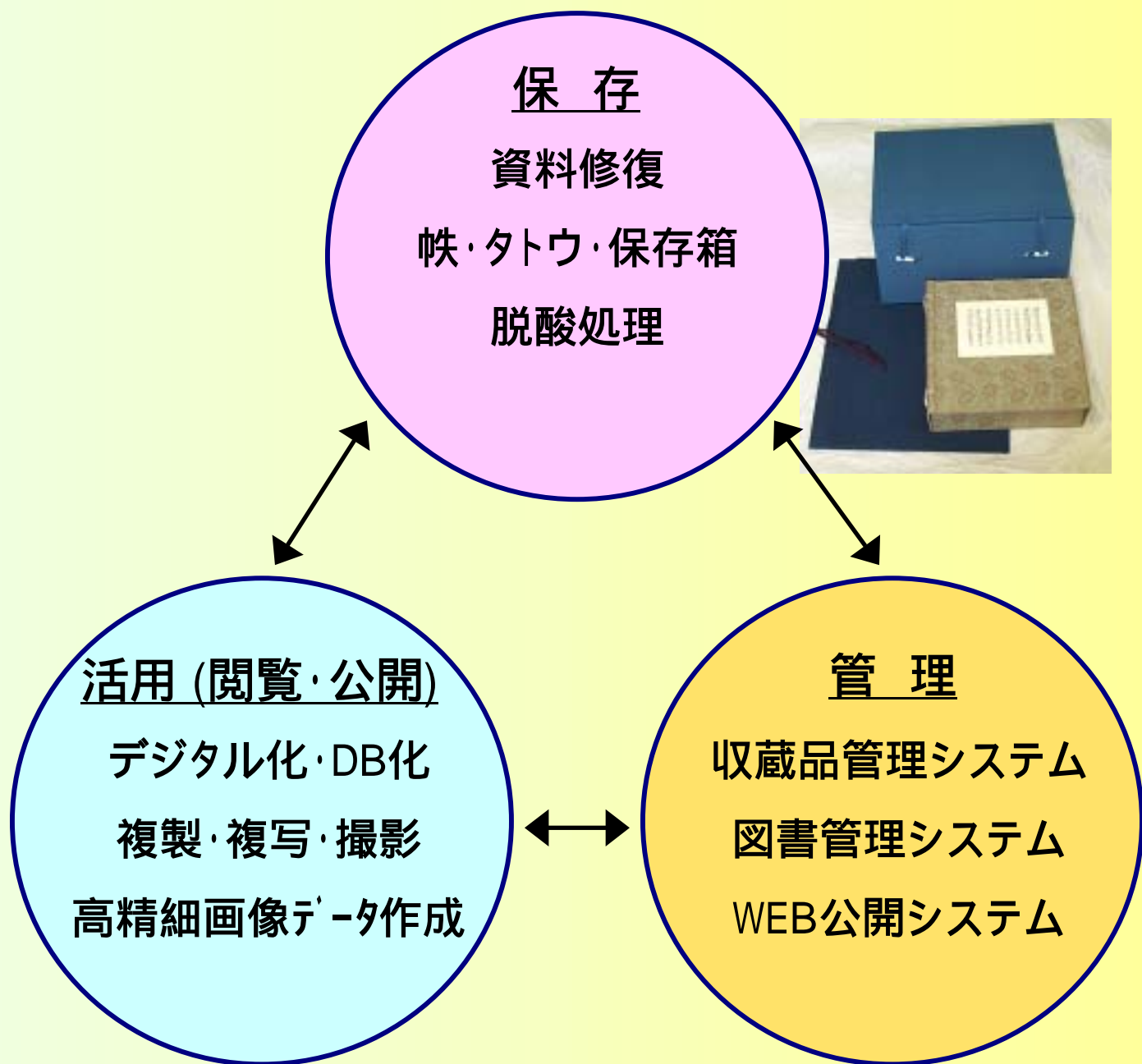
平成13年11月

ver1.3



ALL Rights Reserved, Copyright Nakasha Creative Co.Ltd

# 資料保存管理施設 関連業務



資料の保存・活用・管理についてトータルに  
サポートさせていただきます。

# 1. 方針

## 1) 歴史資料取り扱いへの配慮

長年、マイクロフィルムや大型資料の撮影、文化財の複製、修復に携わってきたそのノウハウと、多くの実績に証明される資料取り扱いの安全性を、生かしていきます。

## 2) 記録に残す、形に残すための配慮

デジタルの利点を十分知った上で、アナログの形でも資料を残すことの重要性を、我々はあらためてご提案をします。目的に応じたクオリティの高い貴重な資料情報を、デジタルデータとアナログフィルムの両輪でアーカイブしていきます。

## 3) 高付加価値、高コストパフォーマンス

資料を高精細で再現するための大型フィルムでの撮影、大容量データの画像処理など高い付加価値を、高いコストパフォーマンスで実現します。

## 4) 納品後の配慮(アフターケア)

大量のデジタルデータを危機管理の理念の元に分散保管することは非常に重要だと考えます。データのバックアップと、媒体の陳腐化やソフトウェアの変化に対しての情報提供などアフターケアを万全にします。

## 5) 利活用の推進

多くの方々に、データベースやWEBでの情報提供システムに対して興味をもっていただき、利用してもらえよう、WEB媒体やメール、デモサンプルでの紹介などデジタルアーカイブの利活用推進にご協力します。

## 2. フィルム撮影の必要性

・デジタルカメラでの直接撮影ではなく、資料を新たに撮影してスキャンを行います。

8"×10" カラーポジフィルム  
4"×5" 撮 影

スキャン

目的に合った高品位  
のデジタルデータ

- ・複製製作の仕様に準じた(高水準の)撮影です。
- ・資料の内容・記述に応じた撮影基準(全体のトーン・文字の寸法・地色やシミの濃淡など)を設定します。
- ・資料に忠実な色再現を調整、設定します。
- ・画像圧縮技術の進歩で高品質のデータの保存でも低負担
- ・デジタルカメラでは現スペックのデータしか取り込めない
- ・再撮影を行うことは資料保存のためにならない

精度の高いフィルムがあればその時代に合った更なる高品位のデジタルデータを取り込むことができます。

危機管理上、別媒体での保管が可能です。  
(撮影してあったフィルムから復元が可能)

## 3. 撮影環境・条件

- ・真俯瞰で撮影します。  
大型絵図(国絵図・地籍図など)を対象とした設計の専用スタジオで真上から撮影できます。
- ・カメラレンズだけを露出した設計です。  
(大型の図面/文化財専用の設計です。)
- ・撮影治具・部品の落下危険性がありません。
- ・被写体からレンズまでの距離5.3m
- ・焦点距離の差を抑えることによって低下するコントラストも考慮した設計です。
- ・スタジオの床面は、マグネットを使用でき、きつい折り目、シワであっても平面性を出すことができます。



撮影スタジオ(天井開口部分)

・大型資料全体を8"×10"フィルム 1カットで撮影することを基本とします。より大型の図面も、最低限の分割で設計するため、接合作業を軽減できます。

・レンズ収差の歪みによる分割接合部の段差がありません。



・資料を展開、移動する回数が減り、なにより、資料に負担をかけません。

・接合部の人為的な描画がなく資料に忠実な仕上がりになります。

・1カット撮影であれば、後のフィルム管理が容易です。



8"×10"カメラ TOYO-VIEW 810G

## < 資料の取り扱い >

貴重な資料の扱いは、

単なる資料撮影ではなく貴重資料のレプリカ製作に携わる作業です。

画像の再現性に対する知識をもち、取り扱いに熟練した作業でおこないます。



真俯瞰写真

## 4 . 撮影手順

弊社スタジオは、基本的に(レプリカ製作等の)大型資料・絵図の写真撮影のために設計されております。撮影の流れは、以下のとおりです。また、撮影資料を安全に高品質に撮影するため以下のような点に注意しています。

資料状態や寸法等で分類した計画に基づき撮影資料を整理します。

床面はマグネットを使用することができますが、表面は撮影用バック紙等で養生します。

担当者立ち会いのもと、資料の状態を確認しつつ負担をかけないよう展開します。

展開した後、平面性の良くない資料は、和紙で養生したマグネットで資料の端を押さえます。作業中は、常に資料の状態に留意し、付箋の扱い等担当者の指示に従います。

光源はストロボ4灯～6灯を使用し、露光の調整後、真俯瞰で撮影を行ないます。

基本的にカラーチャートやスケール、図面番号等の情報をポジに写し込みます。

同ロットのフィルムであらかじめテスト済の現像条件で現像します。

- ・光源はストロボですが、アンブレラにあて、資料に直接照射しません。白熱光源を長時間照射するような撮影とは異なり、資料に与える影響は非常に少なくなっています。
- ・微細な文字記述が無い限り分割撮影をしない為、状態の悪い資料であっても破損の危険性を最小限にとどめることができます。
- ・各フィルムサイズに応じたホルダー及びファイルに収納して納品します。

### < 出張撮影 >

原本の持ち出しができない場合、スタジオでの撮影に近似した環境を設定し、そのもとで出張撮影することも可能です。

## 5. 業務実績

納入先	業務名
名古屋市博物館	「尾張徳川家の絵図展」協賛コンテンツ製作
愛知県八開村	「八開村史写真集」CD-ROM作成
愛知県県史編纂室	「猿投神社所蔵資料マイクロフィルム撮影及びデジタルデータ変換業務」
三重県生涯学習課	博物館美術館収蔵資料のデジタル化
富山県立山カルデラ砂防博物館	「第五回企画展の資料撮影・編集加工」
岐阜県中津川市	「苗木領村絵図画像処理委託(絵図のデジタル化)」
岐阜県土岐市	「美濃陶磁史記録保存事業」「古文書資料整理事業」
福岡県筑紫野市歴史博物館	「ふるさと館ちくしの古写真集」CD-ROM作成
神戸市立博物館所蔵	南蛮屏風六曲一双(重文)撮影
同上	泰西王侯騎馬図(重文)撮影
佐原市伊能忠敬記念館所蔵	伊能図(重文)撮影
福井県劔神社所蔵	梵鐘(国宝)撮影
東京国立博物館所蔵	東海道分間延絵図(重文)撮影
徳川美術館所蔵	尾張国絵図撮影
白杵市図書館蔵	日向国絵図撮影
群馬県立文書館蔵	上野国絵図撮影
千葉県文書館蔵	下総国絵図撮影



撮影風景





〒468-0047

(本部) 名古屋市天白区井の森205番地

TEL 052-895-1132 FAX 052-895-1120

担当：画像情報部 文化施設課 和田・藤井・西川

URL：<http://www.nakasha.co.jp>

：<http://www.zuroku.net> (図録ネット)

e-mail：bunka@nakasha.co.jp

本案内資料の内容に関しますお問い合わせは、上記の担当までお願いします。